

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	入居者の生活歴や生活環境など、記録が十分でない為、入居者の言動や問題行動に対応する際、職員同士共有できていないことがある。また、新しい職員が入居者をする為にも、生活歴等を知る必要がある。	・全職員が、入居者一人一人を今以上に知る。	・職員が「パーソンセンタードケア」の実践に向けて勉強会を行う。	6ヶ月
2	24	入居者の生活歴や生活環境など、記録が十分でない為、入居者の言動や問題行動に対応する際、職員同士共有できていないことがある。また、新しい職員が入居者をする為にも、生活歴等を知る必要がある。	・入居者一人一人の生活歴を知る。	・新たなアセスメントツールを作成・実践する。	10ヶ月
3	6	身体拘束については、しない方針であるが、行動を止める言葉かけや関わりについて無意識に行ってしまうことが、職員の話し合いから出た為、対応方法を考えていきたい。	・全職員は認知症についての知識を深める。	・認知症についての勉強会をおこなう。	10ヶ月
4	6	玄関の施錠について、安全上から、施錠している。	・入居者に閉塞感を与えないような、雰囲気を作る。	・玄関前で活動するときには、開錠する時間を設ける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。